

週間漁海況情報—第46号

平成22年11月29日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

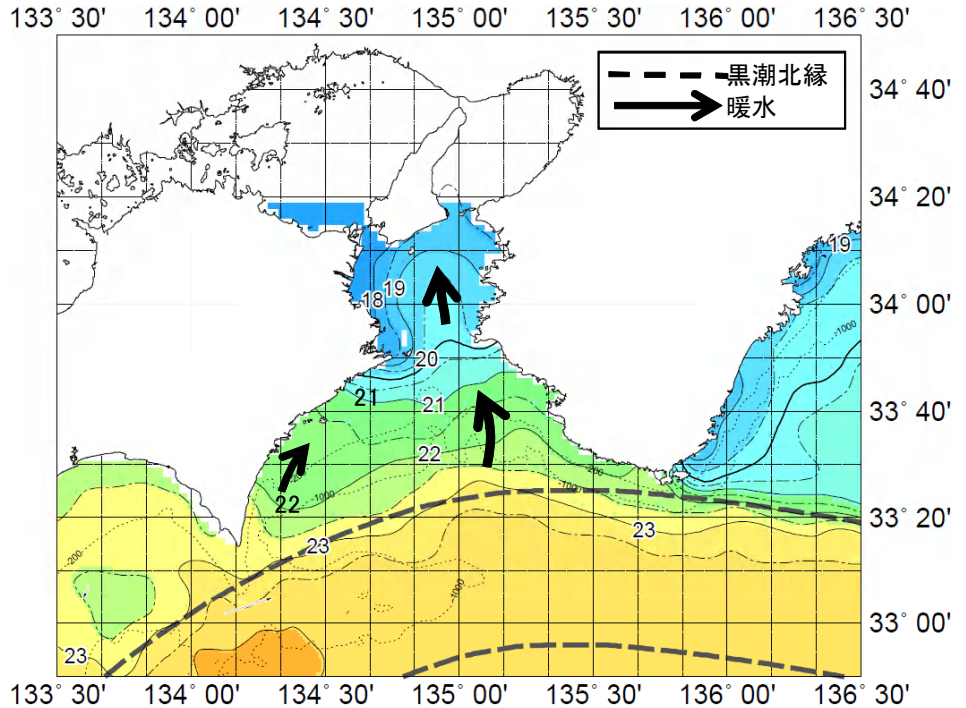
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.11.29）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖および足摺岬沖でやや離岸している。

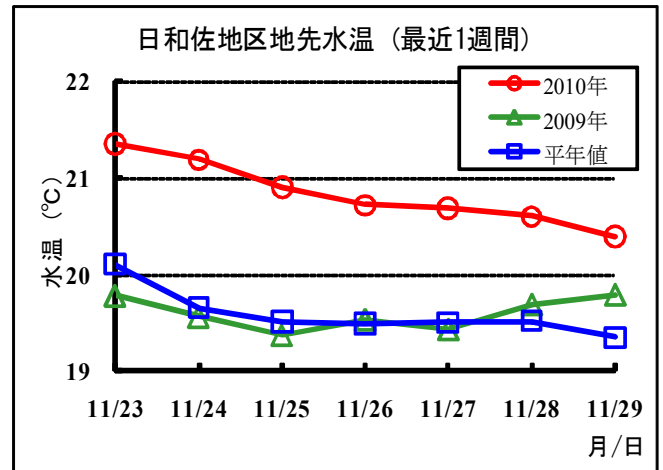
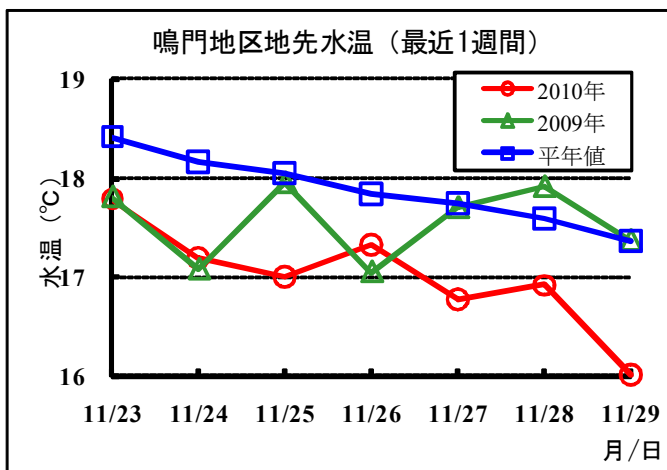
黒潮本流の表面水温は、22～24℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で16～17℃台、紀伊水道で17～19℃台、海部沿岸で19～21℃台である。

紀伊水道外域では、先週に引き続き、室戸岬南東沖から海部沿岸に向けた暖水流入がある。和歌山県沿岸の暖水流入が紀伊水道内まで達している。内海系水と黒潮系暖水との潮境は19℃の等水温線付近にあり、蒲生田岬周辺から沼島周辺を通り和歌山県まで達している。



地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」の16.0～17.8℃、日和佐地区で「やや高め」～「高め」の20.4～21.4℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の20.5～21.9℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアマダイが0.4トン(1日1隻当たり13kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが1.7トン(同10kg)、キビナゴが0.3トン(同2kg)、タチウオが1.0トン(同6kg)、小主体にマルアジが0.2トン(同1kg)水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小主体にアオリイカが0.3トン(同148kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、アオリイカが1.2トン(同12kg)、特大主体にカツオが2.3トン(同175kg)、中主体にキハダが0.5トン(同65kg)、小主体にタチウオが1.3トン(同33kg)、中主体にハマチが0.2トン(同11kg)、マダイが0.2トン(同2kg)、紀伊水道で中主体にサワラが0.5トン(同55kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが5.8トン(同97kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 11月22日～11月28日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	28	351	13	大主体
小型定置網		アオリイカ	161	1,658	10	
		キビナゴ	161	277	2	
		タチウオ	161	1,014	6	
		マルアジ	161	206	1	小主体
大型定置網		アオリイカ	2	295	148	小主体
釣り	海部沿岸	アオリイカ	99	1,215	12	
		カツオ	13	2,278	175	特大主体
		キハダ	8	522	65	中主体
		タチウオ	41	1,344	33	小主体
		ハマチ	22	237	11	中主体
		マダイ	120	214	2	
パッチ網	紀伊水道	サワラ	9	494	55	中主体
		シラス	60	5,800	97	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」の15～16℃台、日和佐地先は「平年並み」の19～20℃台で推移する見込み。

お知らせ(重要)：

水産研究所の携帯版ホームページアドレスが変更になりました。

バーコード読み取り機能付きケータイをお持ちの方は、右のQRコードからホームページに移動できます。お気に入りに登録されている方は、変更をお願いします。

水産研究所携帯版ホームページアドレス

<http://mobile.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/>

